



学校教育目標

進んで学ぶ子 仲良くできる子 たくましい子

児童数 男子488名 女子476名 計964名

TEL (048)222-4383

FAX (048)222-9388

①っかりと聞き・②くわく未来を語り・③すんで学び・④れにも仲良くできる しわすだっ子



朝飯前 ～ 時間を上手に使う ～

校長 石井 宏明

関東地方も梅雨が明け、先週末から本格的な暑い日が続いております。まん延防止等重点措置が8月22日まで延長され、引き続き感染症防止に留意をしながら、これまで以上に熱中症防止にも十分気をつけなければなりません。

この第1学期も保護者や地域の皆様のお陰で、校内における集団感染や交通事故、熱中症等の救急搬送等、大きな事件、事故もなく、本日終業式を迎えることができ、心よりうれしく感じております。

この夏休みには、8月下旬にサマースクールとして、補充学習や水泳教室を計画しております。

約40日の長期休業終盤に子供たちの笑顔が見られるだけでも、ほっとする機会になりそうです。

また、第2学期開始1週間前に、夏休みに取り組んだ宿題や絵画・ポスターコンクール、科学展、発明創意工夫展、社会科マップコンテスト、読書感想文などについて、各担任(担当)に相談してみるのもよいと思います。

さて、この夏休みは、自分自身で時間を使うことが多くなります。時間の管理、使い方を子供たち自身、ご家庭にお任せする期間となります。自分の自由にできる時間を発達段階に応じて、子供たち自身で管理、マネジメントする力は、見通しをもつ力、計画を立てる力、時間内にやり遂げようとする心、振り返る力等、知徳体のすべてをはぐくむことにつながります。

そこで、未来を拓くしわすだっ子には、「朝飯前にできる子」になってほしいと考えております。

この「朝飯前」という言葉は、とても簡単なことという意味ですが、実は、江戸時代では、朝起きたら、近所の家庭、お年寄りの一人暮らしなど、困ったことが起きていないか、様子を見たり、声をかけたり、できることをすることだそうです。

そして、朝ごはんがすんだら働く、自分のため、生活のために働くのです。働いた後は、人のため、町のために、ボランティアをする。たとえば夏は、道に水をまいたりして、気持ちよくみんなが過ごせるようにしたり、明日の準備をしたということです。

このようにして、自分のために使う時間と、家族の人、他の人のために使う時間をわけて考え、自分もよい一日を過ごせ、他の人も気持ちよく過ごした、ということです。

しわすだっ子にも、自分が「朝飯前(かんたん)」にできることや、他の人のためにできることはないか、考えて行動してくれるといいなあと願っております。

時間を上手に使える子は、知恵のある子です。

時間を上手に使える子は、自分の心をコントロールできる子です。

時間を上手に使える子は、未来の自分の健康をつくれる子です。

この夏休みにおける時間の使い方によって、第2学期以降の子供たちの成長、育ちに少なからず影響が表れます。

是非とも、子供たち一人一人が、いろいろなチャンスを取捨選択し、「時間の使い方」を工夫し、トライする。それが「朝飯前」に思える、「朝飯前」にできるしわすだっ子になって、第2学期を迎えられることを期待しています。